

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	多文化サービス事業	会計	一般会計	事業No.	812	施策順No.	28-014
		事業種別	政策・その他	予算科目	0予算事業		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	課等名			図書館		
施策	28 学習交流活動の推進	事業期間	開始	終了			

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内在住外国人及び帰国者 市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		市民人口(H21.10.1)(人)	107259	106630	105691	105036			
		市内在住外国人及び帰国者	29750	3020	2872	2458	2400		
意図		市内在住外国人及び帰国者が図書館を利用することにより情報を得、読書や学びの機会を得る。市民が多文化に接し、国際理解・交流を深める。	市民が多文化に接し、国際理解・交流を深める。						
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		外国語蔵書数	2961	3065	3320	3400	3452	3500	B
		図書貸出冊数(冊)	1645	1522	1450	1200	1185	1100	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		中央館耐震改修工事休館や在住外国人の減少により利用数は減少しているが、対象人数に対する利用率は維持している。蔵書数も少量ながら増加している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	国際化が進む中、多くの国の人々への情報提供を行うとともに、異文化理解の支援を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 外国語図書選書・発注・受け入れ 2 寄贈図書・雑誌・新聞受け入れ 3 英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の利用案内を中央図書館・地域館及び市民課窓口で配布。	1 外国語図書受け入れ 2 外国語雑誌・新聞受け入れ 3 利用案内配布箇所	1 150冊 2 1誌・1紙 3 4箇所
23年度実施計画	よむとすinいいだ事業に統合	よむとすinいいだ事業に統合	よむとすinいいだ事業に統合

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	*この事業費は図書購入事業費と図書館運営業費と図書館維持管理事業費に計上。
	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	計 (A)		0	0	0		
	正規職員所要時間			85			
	臨時職員等所要時間						
	人件費計 (B)			304			
	トータルコスト A+B			304			

4 事業に対する市民や議会の意見

帰国子女や外国人就労者及び、異文化に触れたい地元住民から多言語図書コーナーが喜ばれている。
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学びの機会を得られる 多様なネットワークが広がり、国際文化交流に役立つ	施策の成果指標又はムトス指標	学習活動を行っている市民の割合 家族や職場以外に交流がある市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田市在住の外国人や帰国者に、多言語の資料を収集・提供することにより学びの機会を提供した。外国語に触れたり、国際理解に役立つ資料を提供することにより、市民の国際文化交流を支援した。		
	後期に向けた課題	外国語図書スペースの有効利用		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	言語別の利用率等を検討し、要望の多い外国語の蔵書を増やしてきた。		
	後期に向けた課題	在住外国人、帰国者の資料に対するニーズの把握		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	寄贈図書を受け入れ、提供した。		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	図書館法で無料の原則がうたわれている。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①外国語図書寄贈者により蔵書が増加した。整理ボランティアによる外国語図書の整理・受入が進んだ。 ②男女共同参画課との連携により、寄贈本の受入、整理ボランティアの図書整理が進んだ。		
	後期に向けた課題	特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯田市在住の外国人や帰国者に、多言語の資料を収集・提供することにより学びの機会を提供し、市民の国際文化交流を支援してきた。		
	後期に向けた課題	在住外国人、帰国者の資料に対するニーズの把握及び広報活動		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------